

【番号制度対応の最新状況～今やるべきこと～】

「Cos-DEC(クラウド型オープンDB協議会)」セミナー

番号制度の担当者さま必見！

「Cos-DEC(クラウド型オープンDB協議会)」は先進自治体による研究会(「住民情報基盤研究会(事務局:葛飾区)」)で検討されてきた“番号制度に対応するための最善な方法(ベストプラクティス)”をクラウドサービスなどで、具体的なソリューションとして提供することを目的として活動しております。本セミナーでは、先進自治体の皆さまをお迎えして、目前に迫った番号制度の対応に向けて、最新の動向と“今からでも出来ること”を考えてまいります。また、Cos-DECの構成企業によって提供される具体的なソリューションと活用方法などもご紹介させていただきます。番号制度に対応する際の一助になればと考えておりますので、是非お役立て下さい。

ご多忙の折とは存じますが、皆さまのご参加を心よりお待ち申し上げます。

※Cos-DECは、IT関連企業のみによって構成されています。

開催概要

【日時】 2014年 11月4日(火) 13:30～17:00 (受付開始13:00～)

【会場】 TKPガーデンシティ 御茶ノ水 3階 カンファレンスルーム3A

【主催】 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社

Cos-DEC (事務局:ITbook株式会社 戦略企画室)

【後援】 地方公共団体情報システム機構

【協力】 Cos-DEC構成企業 (50音順)

ITbook、アイネス、アライドテレシス、伊藤忠テクノソリューションズ、インターネットイニシアティブ、大崎コンピュータエンジニアリング、北日本コンピューターサービス、彩ネット、ジェネッツ、ソフトバンク・テクノロジー、富士ゼロックスシステムサービス、富士電機、日本マイクロソフト、リコー(リコー・ジャパン)

【参加費】 無料

【定員】 60名

【お申込み】弊社イベントページからお申し込み下さい。

<https://ctc-form.jp/public/seminar/view/394>

【お問い合わせ】

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 金融・公共システム営業第2部 担当:小西
 E-mail: koukyou2-lg@ctc-g.co.jp
 TEL: 03-6203-4410
 URL: <http://www.ctc-g.co.jp/>



【会場案内】

住所: 東京都千代田区神田駿河台3-11-1
 三井住友海上駿河台新館3F

アクセス:

- ・JR「御茶ノ水駅」聖橋出口 徒歩4分
- ・東京メトロ千代田線「新御茶ノ水駅」B3b出口直結
- ・東京メトロ丸の内線「淡路町駅」B3b出口直結
- ・都営新宿線「小川町駅」B3b出口直結



13:00-13:30 受付(開場)

13:30-15:00 「番号制度対応の最新状況～今やるべきこと～」

いよいよ番号制度の準備が本格化していますが、まだまだ具体的にどんな準備をしたら良いか分からないという声を聞きます。そこで、「マイナンバー制度に関する国と地方公共団体の推進連絡協議会」や「特定個人情報保護ガイドライン検討会」に参加している川口市の番号制度対応の最新状況と、今やるべきことについて、自治体の現場の立場から紹介いたします。

「住民情報基盤研究会」川口市 情報政策課 課長
大山 水帆 氏

15:00-15:10 休憩

15:10-15:50 「先進事例を最大活用する番号制度への対応方法
～“クラウド型オープンDB”で先進事例を真似る方法」

川口市などの先進自治体では、共通基盤(共通DB)を活用しながら、番号制度導入の現実解ともいえる取組みを継続しています。そして、規模や組織体系なども違う龍ヶ崎市(人口8万人)では、先進自治体の取組みを、どのように真似する(活用することができるか)を追及してきました。多くの自治体でも参考になる、先進事例の活用例をご紹介します。

「住民情報基盤研究会」龍ヶ崎市 CIO(情報化統括責任者)補佐官 / Cos-DEC事務局長
小林 啓男 氏

15:50-16:20 「川口市モデルを実装したオープンDB共通基盤の紹介」

CTCでは、メーカーに依存しないオープンテクノロジーと、広く利用されている汎用ツールを適切に組み合わせることで、ベンダーロックインを排除した、真の共通基盤を提供します。川口市様で開発を進めている中間サーバ連携機能と統合宛名DBを実装し、自治体の情報資産を自治体の手に取り戻し、高付加価値な住民サービスを低コストで実現する、CTCのオープンDB共通基盤をご紹介します。

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
社会インフラシステム第1本部 金融・公共システム技術開発第1部
隅田 洋一郎 氏

16:20-16:50 「龍ヶ崎市での自治体クラウドの取組みについて」

富士電機では総務省が推進する地域情報プラットフォームや自治体クラウド等への取組みを積極的に行っており、業界標準技術の採用やオープンなシステムの提供を推進しています。本セミナーでは、龍ヶ崎市様における自治体クラウドへの取組み及び マルチベンダーの中で実現する番号制度への対応についてご紹介いたします。

富士電機株式会社
社会環境技術部 行政情報営業課 課長
森宗 厚史 氏

16:50-17:00 質疑応答

※「住民情報基盤研究会(事務局:葛飾区)」とは、

地方公共団体における「情報技術の標準化」や「情報セキュリティ対策」などを推進するとともに、先進自治体事例も踏まえた各種標準仕様等(「地域情報プラットフォーム」や「自治体クラウドの標準仕様」、「文字情報基盤」等)の活用モデルを検討することを目的とした各団体の情報システム部門長などをメンバーとした研究会のこと。

オブザーバとして、「独立行政法人情報処理推進機構(IPA)」、「外務省 情報化統括責任者(CIO)補佐官」なども招聘しながら、平成25年2月より、葛飾区、豊島区、町田市、八王子市、川口市、松戸市、龍ヶ崎市、東大阪市、政令指定都市である熊本市を含む7市2特別区が中心となって開催している。

■ Cos-DEC(クラウド型オープンDB協議会)によるご提案
「クラウド型オープンDB」によって、以下の実現をご支援します。

1. 効率的・効果的な番号制度への対応
(外部連携の際の唯一となる機能を提供)

2. 簡便なデータ抽出、データ移行

3. ベンダーロックインしない
高付加価値サービス
(総合窓口、BI、CMS など)

